

# TTS-1

液槽式サーマルショックテスター

Thermal Shock Tester



## 特長

- 1,000,000 サイクル以上の運転実績を持ち、専用構造で耐久性の高い、熱衝撃試験専用装置。
- イージーナビゲーション機能を搭載し、表示部はタッチパネル方式で簡単に設定できます。
- シンプルなゴンドラ式移動アームによりメンテナンス性も考慮。
- 長時間運転時に対応した各種安全装置。
- 連続使用時における水の蒸発に対して自動給液機能をオプションで用意しています。

## 使用温度について

TTS-1の温度範囲は、低温槽（-20℃～+80℃）、高温槽（常温～+200℃）となっておりますが、使用液により次のような温度範囲で使用されることをお勧めします。

使用例	低温槽		高温槽	
	使用液	温度範囲	使用液	温度範囲
①	水	+5℃～+80℃	水	室温+10℃～+80℃
②	エチレングリコール系ブライン	-20℃～+80℃	エチレングリコール系ブライン	室温+10℃～+80℃
③	シリコンオイル	-20℃～+80℃	シリコンオイル	室温+10℃～+200℃

※温度範囲・付帯設備等、お客様のご希望仕様にあわせての特型のご相談も承ります。  
※ご注文時には温槽、冷槽の使用温度をご指定下さい。

## 仕様

### ●TTS-1

外形寸法	W900×D820×H1100mm	低 温 槽	攪拌機	噴流攪拌方式60Wモーター	
高 温 槽	槽内寸法	W300×D450×H150mm	移 動 装 置 部	安全装置	水槽温度高温異常、水槽温度低温異常、 水槽水位異常、冷凍機保護回路
	槽内有効寸法	W300×D325×H150mm		駆動方式	スピードコントロール式モーター駆動（電磁ブレーキ付）
	温度範囲	室温+10℃～+200℃		浸漬方式	浸漬タイマー（最大9999時間）任意可変 浸漬カウンター（最大999999カウント）任意可変
	温度安定度	±0.1℃		可積重量	MAX 2kg（カゴ内寸=W150×D250×H70mm）
	ヒーター	シースワイヤー式 1.5kW		安全装置	移動装置過電流異常、モーター異常
	攪拌機	噴流攪拌方式60Wモーター		温度制御	タッチパネルコントロール PID制御方式
	安全装置	水槽温度高温異常、水槽温度低温異常、水槽水位異常		電 源	AC200V 三相 20A 50/60Hz プラグなしコード 3m 供給電源容量 30A 以上
低 温 槽	槽内寸法	W340×D490×H150mm	そ の 他	ドレン口 外径Φ16mm	
	槽内有効寸法	W300×D325×H150mm	価 格	¥4,950,000	
	温度範囲	-20℃～+80℃	オ プ シ ョ ン	自動給水機能※ ¥130,000	
	温度安定度	±0.1℃			
冷凍機	空冷式400W HFC-404A				
ヒーター	シースワイヤー式 1.5kW				

※自動給水機能は、使用液に水を使用される場合のみになります。この際の水道への接続配管等は、お客様にてご対応願います。

# Cタイプ

サーマルショックテスター

Thermal Shock Tester



## 特長

- 本機は液槽の広い有効スペースを活かし、プリント基板のホットオイル試験、電気部品の耐熱信頼性試験、歯科材料の冷熱試験等にご使用いただけます。
- 水平移動式の熱衝撃試験装置。水平移動の構造により重さのある試料の試験に対応。
- 熱衝撃試験装置として専用の構造とコントローラーを装備。
- 長時間運転時に対応した各種安全装置。
- 連続使用時における水の蒸発に対して自動給液機能をオプションで用意しています。

※温度範囲・付帯設備等、お客様のご希望仕様への特型のご相談も承ります。

## 仕様

### ●Cタイプ (参考仕様)

装置外形寸法	W1600×D900×H1640mm	
高温槽	槽内寸法	W350×D400×H350mm
	槽内有効寸法	W350×D300×H330mm
	温度範囲	常温～+260℃
	温度安定度	±0.2℃ (槽内無負荷の時)
低温槽	槽内寸法	W400×D450×H350mm
	槽内有効寸法	W350×D300×H330mm
	温度範囲	0℃～常温
	温度安定度	±1℃ (槽内無負荷の時)
移動装置部	駆動方式	リバーシブルモーターによるモーター駆動 水平・垂直移動
	浸漬時間	任意可変式
	液切り時間	任意可変式
	カウンター	6桁 プリセット型 (セット値まで加算後、自動停止)
電源	AC200V 三相 21A (全負荷時) 50/60Hz プラグなしコード3m 供給電源容量30A以上	
価格	¥7,250,000～ (仕様・使用条件等をご確認の上、ご相談させていただきます)	

※自動給水機能を装備する場合は、使用液に水を使用される場合のみとなります。

この際の水道への接続配管等は、お客様にてご対応願います。